



ルールを守りながら、安心してセンター街を楽しんでほしいです。

渋谷のラジオで出張インタビュー 小野寿幸さん

— 自己紹介をお願いします。

私は渋谷センター街パトロール隊大隊長、渋谷センター商店街振興組合理事長、宇田川町会会長を務めています。渋谷区で働き始めて54年が経ちます。大隊長の仕事は、主に全体をまとめる指揮官のようなものです。当初は大隊長という役職はなかったのですが、マスコミに取り上げられるようになった頃から、隊長の鈴木さんより年上ということで「大隊長」と呼ばれるようになりました。

— 渋谷センター街パトロール隊が結成されたいきざつを教えてください。

2002年に国立競技場で開催された、日韓共催FIFAワールドカップの決勝戦(サッカー)がきっかけでした。六本木と渋谷の街を美化清掃する取り組みがあり、警察の指導のもと渋谷区からもメンバーが集まりました。開催中はきれいになりましたが、また月日が経つと元通りに…。このままではいけないと思い、引き続き街をきれいにしていこうということで、2003年に渋谷センター街パトロール隊を結成しました。

— 街をきれいにすること以外にはどんな活動をされていますか？

主な活動はセンター街の昼夜の見回りですね。昼のパトロールは、以前は監視のような目的がありましたが、現在は国内外の旅行者への道案内が主流になりました。センター街には国際部という部門があり、3か国語で対応できるようにしています。私たちが片言ですが、英語で道案内しているんですよ。夜間のパトロールは月2回、警察と渋谷区の安全対策課と一緒にやるものと、それ以外に月2・3回、隊員だけでやるものがあります。

公道へはみ出している看板や商品を店内に入れるように指導したり、客引きの取り締まりなど、渋谷の夜を楽しむ人たちの迷惑になる行為をなくすよう努めています。

— まさに街をきれいに、安全にする活動ですね。

はい。善良な市民や観光客をだましたり、危険にさらしたりする行為は絶対に許せません。安全な渋谷を楽しんでもらい、安全に見送る。これが本当の日本の“おもてなし”につながると思っています。人を集めるイベントも大切ですが、それ以前に街の美化と安全・安心を確保する。そうすれば、センター街エリアにたくさんの人が来てくれるという信念を持って活動をしています。

— パトロール隊で活動していて、うれしかったことはありますか？

店舗のみ出し看板などは、見回りのたびに厳しく取り締まったので、現在はかなり少なくなりました。以前、観光客の方に「看板が全て引っ込んでいけれど、今日は何かイベントがあるの？」と聞かれたことがあり、「いつもこうなんですよ」と答えると、とても驚いていましたね。「昔と比べてがらりと変わったね」と言ってくれる高齢の方もいて、そういう言葉を聞くと、パトロール隊をやってきて良かったと感じます。ほかの地域の商店街の方が、センター街を手本にしてパトロール隊を結成したという話も聞きました。この取り組みが、渋谷から日本中へ広がっていくようにうれしく思います。

— 街を見守り続けている中で、どんなところに区の魅力を感じますか？

若者が元気なところですね。渋谷区には、世界中から若者が集まります。何か面白いことがありそうだと感じさせるこの雰囲気、エネルギーなパワーが街の元気の源になっていると思います。やはりこの街の現在や未来を考えるときに、若者を外して考えることはできません。彼らに安全に、楽しく過ごしてもらいながら、正しく成長を促していくことが我々大人の課題ではないでしょうか。

渋谷センター街パトロール隊とは？

渋谷センター商店街振興組合の理事が中心となって結成された、防犯および環境浄化活動などを主に渋谷センター街の全エリアをパトロールしている組織(平成15年11月に結成)。パトロールは毎月4・5回(夏場は7~10回)、昼夜を問わず行われ、店舗のみ出し看板および商品備品の是正警告や撤去、キャッチセールス・無許可のチラシやティッシュ配り・露天商売の取り締まり、通行を妨害して座り込む若者への指導、歩きタバコの注意勧告、違法侵入車両の取り締まりなど、商店街と警察、行政が一体となって強力なチームを組み、日々、渋谷センター街の安全・安心な環境維持に努めている。

渋谷センター街パトロール隊 隊員心得五箇条

- 1. 街を守る者は自分達しかないという強い意志を持つ。
2. 事なかれ主義でなく疑問に思う事に対してはアクションを起こす。
3. 摩擦を恐れず勇気を持って立ち向かう。
4. 善良なる来街者には優しく親切にする。
5. 街を守る気概が無い者は自ら除隊する。

渋谷区を美しく、安全にする、ひたむきな信念。

渋谷センター街の治安を守るため、14年間にわたって見回り、清掃を続けている渋谷センター街パトロール隊。今回は、大隊長と隊長を務めるお二人に、街にかける思いを伺いました。

— 自己紹介をお願いします。

渋谷センター街パトロール隊の隊長を務めています。生まれは渋谷区で、現在も渋谷に勤務している根っからの「渋谷人」です。隊長の仕事は、大隊長の小野さんと一緒に隊員の指導をしたり、パトロールの日程を作成するなどの作業を担っています。

— パトロール隊のメンバーと、活動を始めたきっかけを教えてください。

渋谷センター商店街振興組合の理事が中心となって、総勢20名で成り立っています。これまで、テレビなどで非行少年の特集が組まれると、イメージ映像でセンター街の映像が使われることが多かったのですが、そんなセンター街にあるマイナスなイメージを改善したかったんです。「汚い・暗い・危険」というイメージが出来上がってしまっていて、このままでは街がダメになると思いました。それを改善していきたいという強い思いから、パトロール隊の活動を始めました。

— 隊員の皆さんで、街への思いを共有されているんですね。

そうですね。実際のパトロール活動を通して、街が良くなれば、自分たちの商売も良くなることを隊員一人ひとりが実感しています。パトロールをしていると、「街がきれいになってきた」「あの区域はもう少しだな」と、自分の街をよく見るようになるので、新たな発見や気付きを大切にしています。パトロール隊を結成する時、「絶対にセンター街を守る」という信念のもと「隊員心得五箇条」を作りました。隊員全員でこの五箇条を共有して、街を良くするための挑戦を重ねています。いろんな人から「きれいになったね」「安全になってうれしいよ」と声をかけていただくと、自分たち

がやってきたことは間違いじゃなかったと実感します。そういう声を支えとなって、活動を続けることができています。

— 渋谷センター街は2011年にメイン通りを「バスケットボールストリート」に名称変更しましたが、名称が変わって変化はありましたか？

そうですね。バスケットボールストリートと命名された翌年に、バスケットボールのモニュメントを商店街の入り口に設置したこともあり、「バスケットボールストリート」という名前が定着してきたと思います。渋谷が持つ「若者、スポーツ、国際性」というキーワードをもとに、エネルギーな街にしていこうというのが元々の発想です。今では、モニュメントの前で国内外からくる観光客が写真撮影をしている姿を見ることが出来ます。現在は、プロバスケットボールチームのアルバルク東京と、サンロッカーズ渋谷という2つのチームが渋谷区を拠点に活動していますし、バスケットボールの人気と共にますます良いストリートになっていくことを期待しています。

— 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催も含めて、今後の活動の抱負を教えてください。

2020年に向けて、いろいろな取り組みをしていますが、東京オリンピック・パラリンピックが終わった後もたくさんの方に渋谷に来てほしいと考えています。そのためにも、「治安の良さをなくして街のにぎやかな繁栄はない」という信念のもと、絶対に犯罪の根付く街にはしないよう、強い思いを持って、活動を継続していくことが大切だと思います。



環境が変われば、街も変わっていくことを実感しています。

渋谷のラジオで出張インタビュー 渋谷センター街パトロール隊 隊長 鈴木達治さん



小野大隊長、鈴木隊長のインタビューは、5月16・23・30日の「渋谷隣祭り」で放送予定。

※紙面に掲載している情報は、29年5月15日現在のものです。

渋谷区の番組を放送中です
ラジオ しぶや区ニュース (10分間)
渋谷隣祭り (45分間)
ラジオ しぶや区ニュース(区長の部屋ほか) (10分間)
渋谷のくらし (30分間)

渋谷区 × 渋谷とは?
「しぶや区ニュース」では毎号、「渋谷のラジオ」と連動したページを掲載。
「しぶや区ニュース」と「渋谷のラジオ」が連携して、人と人のつながりが広がる紙面をお届けしています。

渋谷 周波数: 87.6MHz FM ☆公式アプリでも聴取可能
住所 | 渋谷3-22-11 サンクスプライムビル1階 TEL | 6712-6876
FAX | 5778-9620 E-MAIL | info@shiburadi.com HP | https://shiburadi.com/